

2007年度第4回物学研究会レポート

「日産自動車デザインセンター見学会報告」

2007年7月27日



BUTSU GAKU
物学研究会
SOCIETY OF RESEARCH & DESIGN

7月の物学研究会は、日産自動車さんのご協力をいただき、昨年秋に竣工した日産自動車デザインセンターの見学会を行いました。物学研究会メンバーを中心に60人ほどが、厚木テクニカルセンター内のデザインセンターを訪問。見学会前には、デザインセンタートップ、中村史郎さん（日産自動車株式会社常務執行役員、チーフクリエイティブオフィサー）から、施設に関するプレゼンテーションを頂きました。

今回は通常の講演録に代わって、その見学会の様をお伝えします。

写真は日産デザインセンターの提供です。

日産自動車デザインセンター見学会

2007年7月27日 15:30～18:00

施設説明、見学、懇親会

施設説明

1. デザインセンターの歩み

1954年 日産自動車設計部造形課

1982年 厚木テクニカルセンター内にデザイン本部を移転

1999年 NRP（ニッサンリバイバルプラン）発表

- ・世界をリードするデザイン
- ・Japanese DNA
- ・デザイン組織の強化

2001年 クリエイティブボックスを神宮前に移転

2003年 日産デザインヨーロッパをロンドン、パディントンに統合、移転

2004年 日産アメリカファーマントンヒルズ、リニューアル

2005年 日産アメリカサンディエゴ、リニューアル

2006年 日産デザインセンター（厚木）新施設竣工

NRP以降、デザインセンターの施設リニューアルを推し進めてきたが、06年の厚木の新施設竣工をもって、一応完結。但し、デザインセンターではプランディングの一環として、他にも東京モーターショー会場、厚木テクニカルセンター・エントランス（AKASAKA GATE）、2007年秋に竣工予定の日産アドバンスドテクニカルセンター、2009年竣工予定の横浜みなとみらいHQ（本社ビル）などの、日産自動車の顔となる建築物、施設のデザイン監修も担当。

2. 厚木新デザインセンターの建設の目的

- 1.新しいワークスタイル
 - 2.デジタルプロセス
 - 3.クリエイティブな環境、
- 加えて、国内外デザイン部門の環境格差の是正も大きな目的であった。

3. 建物の構成

「Collaboration & Communication」を図るために、3階（エントランスゾーン）にはプレゼンテーション、エクスポララー・コラボレーション、2階は、デザインスタジオ、プロジェクト・コラボレーション、1階はフィジカルモデリングなど、業務内容ごとにゾーンを明確化し、機能を3フロアに分散。これを縦軸と考え、それに各プロジェクトチームが横軸上に交錯するというマトリックス構造で構成した。

施設見学

2班に分かれて、施設見学会を実施。

- ・施設全長は約300メートル。敢えて長い廊下を設け、スタッフ同士のコミュニケーションのスムーズ化を図る。
- ・社内には「HINTS」という自主活動グループがあり、イベント開催、インフォライブラリーの企画運営など実施。
- ・広すぎる施設内で常に自分の位置を把握するために、サインやゾーン分けのためのグラフィックスを展開。

などの説明を受けながら、約50分の施設見学終了。

懇親会

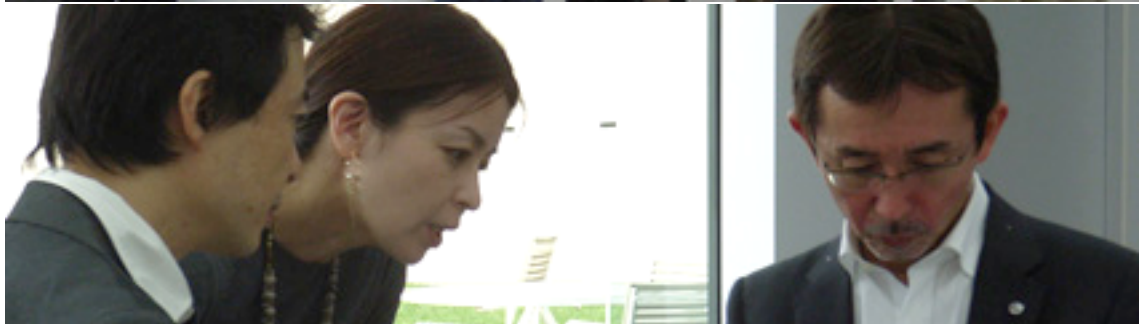
日産車が展示されている丹沢を臨むプレゼンテーションルームにて、日産さんにお手配いただいた飲み物と地元の食材を頂きながら、懇親会を開催。

日産のデザインスタッフの方々も合流して、参加者個別に、施設やデザインマネジメントに対する質疑応答、意見交換が行われた。

尚、日産のデザイン活動に関しては、下記のホームページをご参照ください。

<http://www.nissan-global.com/JP/DESIGN/>

以上



2007年度第4回物学研究会レポート

「日産自動車デザインセンター見学会報告」

写真・図版提供

日産自動車株式会社

編集=物学研究会事務局

文責=関 康子

- [物学研究会レポート] に記載の全てのブランド名および商品名、会社名は、各社・各所有者の登録商標または商標です。
- [物学研究会レポート] に収録されている全てのコンテンツの無断転載を禁じます。

(C)Copyright 1998~2007 Society of Research & Design. All rights reserved.